

推薦状を書く指導教員や学内選考に関わる教員の方に、この案内をお渡しください

指定校担当者の皆様 および 指導教員の皆様へ ～ご推薦にあたって、ロータリー米山記念奨学金をご理解いただくために～

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となる人材を育て、国際親善と世界平和に寄与したいという日本のロータリークラブ会員の願いから始まった外国人留学生支援です

➤ 米山奨学金の最大の特長は、 「世話クラブ・カウンセラー制度」です

様々な職業人や世代の集まりであるロータリークラブの一つが「世話クラブ」となり、会員が「カウンセラー」として、奨学生の日常の相談役となります。



この奨学金は、日本全国のロータリー会員の寄付によって支えられています

➤ 米山奨学生には、以下のことが義務づけられています



- ◇ 月1回以上の例会(ミーティング)出席
- ◇ 年2回の「奨学生レポート」(エッセイ)の提出
- ◇ スピーチの実施と、親睦行事や奉仕活動などへの参加

学校や研究だけでは得られない幅広い分野の人との交流を通じて、日本文化や日本社会のマナー、国際平和親善と奉仕精神を理解していただくことを目的としています。

学内公募し
ご推薦くだ
さい

経済支援だけが目的ではなく、成績優秀者のみ対象の奨学金でもありません

世話クラブを中心とする交流を通じて国際理解と奉仕を学んでいただく奨学金であることをご理解いただき、オリエンテーション欠席や例会欠席、行事欠席、奨学金を途中辞退したり、積極的に休学制度を利用する状況にならないよう、留学・出産または育児・介護・病気・経済的理由・長期帰国等の学籍状況をあらかじめ確認のうえ、米山奨学生の義務を果たせる方をご推薦ください。

～ロータリー米山記念奨学金の特長をご理解いただき、たくさんのご応募をお待ちしております～

終了後も、元奨学生たちは「米山出身者」の絆を大切にしながら同窓会を通じて社会奉仕活動をしたり、個人として母国の教育・農業の発展や女性自立支援に携わったり、駐日大使として「懸け橋」の役割を果たすなど、世界で活躍しています。その模様を下記サイトで紹介しています。



<https://www.youtube.com/user/RotaryYoneyamaMF>



<https://www.facebook.com/RotaryYoneyamaMemorialFoudation>

元奨学生の言葉



奨学金と励ましをいただいた世話クラブの皆さんに夢を実現することを約束し、約束したら実現しなければと努力して、母国に学校を設立することができました。
(1998-99/モンゴル)

ロータリアンがくれたのは、奨学金だけではない。友情だけでもない。一番大切な、人生の生き方を教えてくれました。
(1995-97/中国)

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
HP : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

gakumu@rotary-yoneyama.or.jp